



## メンテナンスとアップグレード

この章では、ASA のメンテナンスとアップグレードの手順について説明します。ここで説明する内容は次のとおりです。

- [5506H-X の DC アダプタを接続する, 1 ページ](#)
- [調整可能な電源保持具を取り付ける, 3 ページ](#)

### 5506H-X の DC アダプタを接続する

24 V DC (製品番号 PWR2-20W-24VDC) または 20 W 20 ~ 60 V DC (製品番号 PWR2-22W-20-60VDC) のオプションの DC 電源をオーダーできます。



警告

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が 5 A、36 VDC 以下であることを確認してください。ステートメント 1005



警告

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。



警告

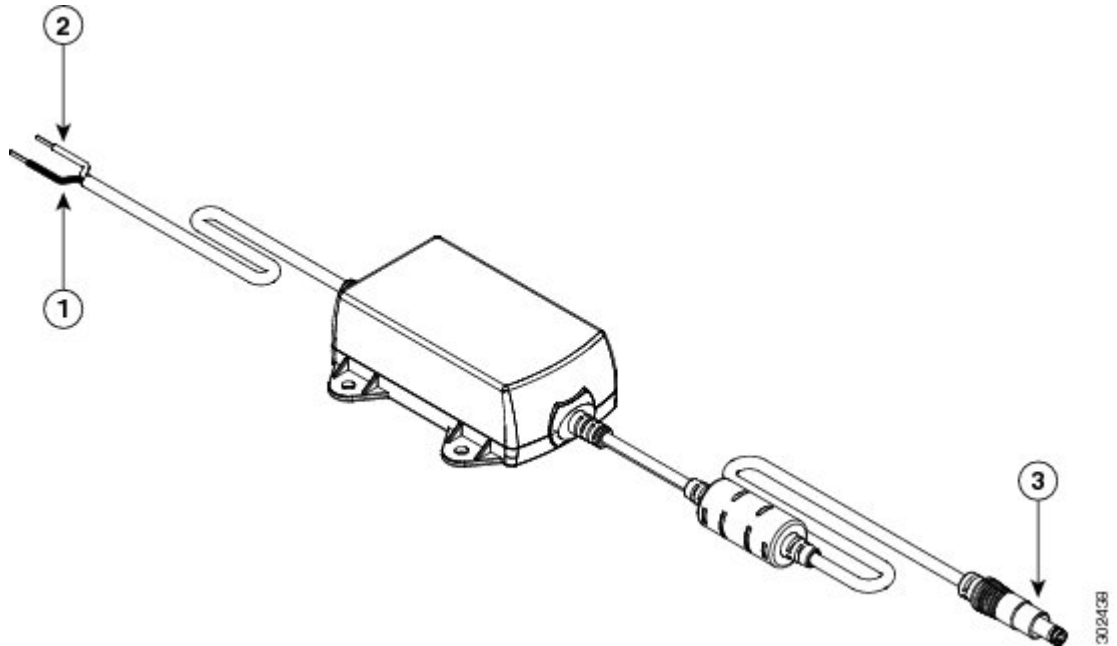
この装置は TN 電源システムで動作するように設計されています。

DC 電源を 5506H-X に接続するには、次の手順に従ってください。

**ステップ 1** 12 VDC のソースに白と黒のリード線を接続します。

黒のリードがマイナス側またはアース、白のリードがプラス側です。出力ケーブルは長さ 1.3 m で、入力ケーブルは長さ 1 m です。

図 1: DC 電源アダプタ



|   |            |   |           |
|---|------------|---|-----------|
| 1 | 黒い線 (マイナス) | 2 | 白い線 (プラス) |
| 3 | アダプタ       |   |           |

**ステップ 2** ASA にアダプタ コードを接続します。

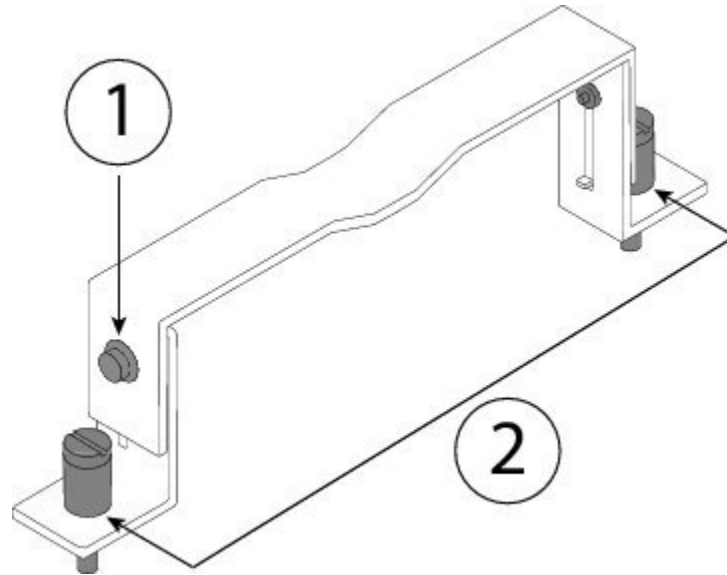
(注) 電源アダプタには、入力接続用の 18 AWG 線が付属しています。コネクタ タイプに関して規定された標準がないため、入力接続用として、被覆を剥がしたずメッキ線を使用します。通常、ネジ端子ブロックを使用します。

**ステップ 3** ASA の電源をオンにして電源が入ることを確認します。LED の詳細については、[LED](#)を参照してください。

## 調整可能な電源保持具を取り付ける

ラックマウントトレイに Delta と LiteOn 電源用の調整可能な電源保持具を取り付けできます。ブラケットキットには、ブラケット、2本の M3 ネジ、ワッシャが含まれています。次の図は調整可能な保持具を示します。

図 2: ASA ブラケット アセンブリ



|   |                                |   |                                |
|---|--------------------------------|---|--------------------------------|
| 1 | 緩めることでブラケットを高位から低位に変更する 2 本のネジ | 2 | ラックマウントトレイに取り付けるための 2 本の非脱落型ネジ |
|---|--------------------------------|---|--------------------------------|

**ステップ 1** ASA を含むラックマウント シェルフをスライドしてラックから出します。

**ステップ 2** 電源の後ろにあるラックマウント シェルフの背面に、調整可能な保持具を取り付けます。

- a) 上部の 2 本のネジ（上図の品目 1）を少し緩めて、各電源モジュールのブラケットを調整します。Delta 電源では、最高位に調整したブラケットを使用します。この構成では、品目 1 が電源のブラケット上のスロット下部に移動します。LiteOn 電源では、最低位に調整したブラケットを使用します。この構成では、品目 1 が電源のブラケット上のスロット上部に移動します。
- b) 電源の上にブラケットを取り付け、ブラケット下側の両端にある、下部の 2 本の M3 非脱落型ネジ（上図の品目 2）をラックマウントトレイにねじ込みます。

次の図は、取り付け済みの電源保持具を示します。

図 3: 取り付け後の電源保持具

